



ガーデンくん

スクエアちゃん

発行：スクエアガーデン地域包括支援センター

所在地：岡崎市羽根町中田 34

TEL：57-1133 FAX：57-0133

URL：taihoukai.or.jp/houkatsu/

MAIL：sg-houkatsu@taihoukai.or.jp



ガーデン通信

「高齢者を見守る、地域のわ」

～ふれあい訪問(羽根)、激励訪問(城南)の紹介～

羽根学区、城南学区の福祉委員会では、災害時避難行動要支援者に登録された75歳以上のひとり暮らし高齢者、または高齢者世帯に対し、孤立化防止見守り活動の一つとして、年に数回、ご自宅への訪問を行っています。

今回はコロナ禍での訪問のため、マスクを着用、3密を避ける対策を取りながら訪問活動に同行し、お話を聞かせていただきました。

羽根学区

年に6回(偶数月)に、総代、民生委員、町内推薦福祉委員の3者で訪問を行っています。

柱東町

「訪問対象者は6名。一人ひとり相談時の窓口担当を決めて見守り活動を実施しています。昔からの顔なじみの方が多いですが、この訪問活動でより親しくなったと思います。お仲間とごまんぞく体操を楽しんだり、毎朝公園までラジオ体操に行っていると聞くと安心します。日頃お世話になっているので、お返しがしたいと、寄付をしてくださったひとり暮らしの男性もいます。柱東町は素晴らしい方ばかりです。」(近藤 千賀子さん)



(中)総代：梅村 祥行さん
(右)民生委員：近藤 千賀子さん
(左)福祉委員：内田 鈴子さん



東尾 登喜恵さん

「足が痛いので外出が減っています。こうしてみんなが来てくれるとお話ができ嬉しい。認知症の予防になります。訪問してくれる前には家を掃除しておこうと思うし、気持ちに張りが出て、とてもいいことだと思います。慰問品も毎回楽しみです。」

城南学区

8、11、2月に訪問を行っています。

城南1丁目



(左)鍛冶舎 イチ子さん
(右)民生委員：小玉 晃さん

15年以上ゴミ収集場に立ち、見守り活動で地域貢献をされてきた鍛冶舎さん。現在もグラウンド・ゴルフに参加し、地域の仲間との交流を続けています。ボールに走って駆けよれ

るほどお元気ですが、「何かあればご近所を頼らなければならぬ。小玉さんを頼りにしています」と、笑顔いっぱいでお話してくれました。

「玄関先のプランターにはいつも綺麗な花が咲いていて楽しませてもらっています。花に元気がないと、もしかしたら体調が悪いのかな?と自分だけでなく、ご近所みんなが心配してくれる。今まで鍛冶舎さんが地域の方との関りを大切にされてきた結果だと思います。ご近所付き合いの大切さを改めて感じます。」(小玉 晃さん)



鍛冶舎 イチ子さん



畔柳 ふみ枝さん

女性の会(城南っぶ)の皆さんが、少しでも快適に夏を過ごして頂きたいと、手作りの夏用マスクを作成。民生委員さんからお渡ししました。

この見守り活動によって、顔の見える関係、お互いが気軽に声を掛けられる関係を築くことができていると感じました。「相談ができる人が近くにいる」と思うと安心できますね。

令和2年版「シニアの暮らし便利帳」発行！

～地域で考える、シニアの暮らしに必要なもの～

城南・羽根
学区版

今年度の「シニアの暮らし便利帳」（以下「便利帳」とする）が9月に発行されました。

地域活動(学区福祉委員会・老人クラブ等)の一覧、宅配や訪問サービス、地域の医療機関・介護事業所などが掲載されている冊子です。

冊子は地域のふれあい訪問や激励訪問の対象の高齢者を中心に配布します。

便利帳作成の実行委員は地域住民である総代、民生委員、学区福祉委員と当センターで構成されています。会議は月1回程度行われ、地域情報の収集・整理のほか、地域の課題についても考える機会となっています。



▲2019年6月17日 会議中の様子。
活発な意見交換がされました！



昨年度は「高齢者の見守り」にスポットを当てて検討しました。高齢者が立ち寄れる場所や「岡崎市高齢者見守り支援事業所」を地図上で確認すると、485号線の電車通り沿いには見守りの場所

が多いものの、陣場や天白町などの住宅街には少ないことが分かりました。そこで、実行委員で見守りの少ない地域にある店舗に、見守り支援事業所登録の協力依頼を行いました。その結果、6か所の店舗が新たに登録され、地域に見守りの協力者が増えました。

これからも便利帳の作成を通じて、いつまでも暮らしやすいまち作りをしていきたいと思えます。

便利帳の最新号は当センターのウェブサイトからもご覧いただけます！

シニアの暮らし便利帳



認知症地域支援推進員の活動紹介

～一緒にやろまい！いたわり愛のまちづくり～

当センターのスタッフは認知症地域支援推進員の役割を担っています。主な役割は①相談支援、②交流の場づくり、③知識の普及・啓発です。私たちが最も大切に考えているのは“認知症の正しい知識を広く地域の皆さんに浸透させていく”こと。認知症への理解が一つのきっかけとなり、「いたわり愛」の輪が広がり、つながり、認知症当事者、家族が住み慣れた地域で安心して生活できると考えています。私たちもその一助を担えるよう日々の相談支援をはじめ、交流の場や学習の場を提供しています。

交流の場のガーデン café は大盛況！地域から多くの方に来場いただき、地域のボランティアさんも大活躍です！（コロナ禍のため、現在見合わせ中）今年度から新たに、「認知症家族介護者つどいの会」を開催しています。同じ境遇にある仲間との交流は、日々の疲れの癒しとなり、介護を行う上での励みとなります。



▲2019年5月開催
ガーデン caféの様子。



▲2019年10月開催。
認知症サポーター養成講座の様子。（城南小学校）

学習の場としては、認知症サポーター養成講座を実施しています。羽根小学校、城南小学校、翔南中学校でも実施し、子どもから大人まで幅広い年代の認知症サポーターが誕生しました！

いたわり愛の輪が地域に広がっています。これからも地域の皆さんと一緒にその輪を広げ、つながっていきたくと思っています！

次号では、地域の「いたわり愛」を紹介します。地域で活躍中の認知症サポーターの方の声をお届けします。乞うご期待！

編集後記 庭のつぶやき

4年前に仲間と発足したバドミントンサークルがコロナ禍のため中止にな

っていました。先日、ようやく再開！（^o^）仲間との絆の大切さを実感し、「コロナに負けるもんか」と誓った1日でした。

